

大橋川改修技術検討懇談会 会議資料
【参考資料】

平成 20 年 9 月 22 日

中国地方整備局 出雲河川事務所

目 次

| | |
|------------------------------------|---|
| <u>1. LCC（ライフサイクルコスト）の概念</u> | 1 |
| <u>2. 補修・補強対策事例</u> | 2 |

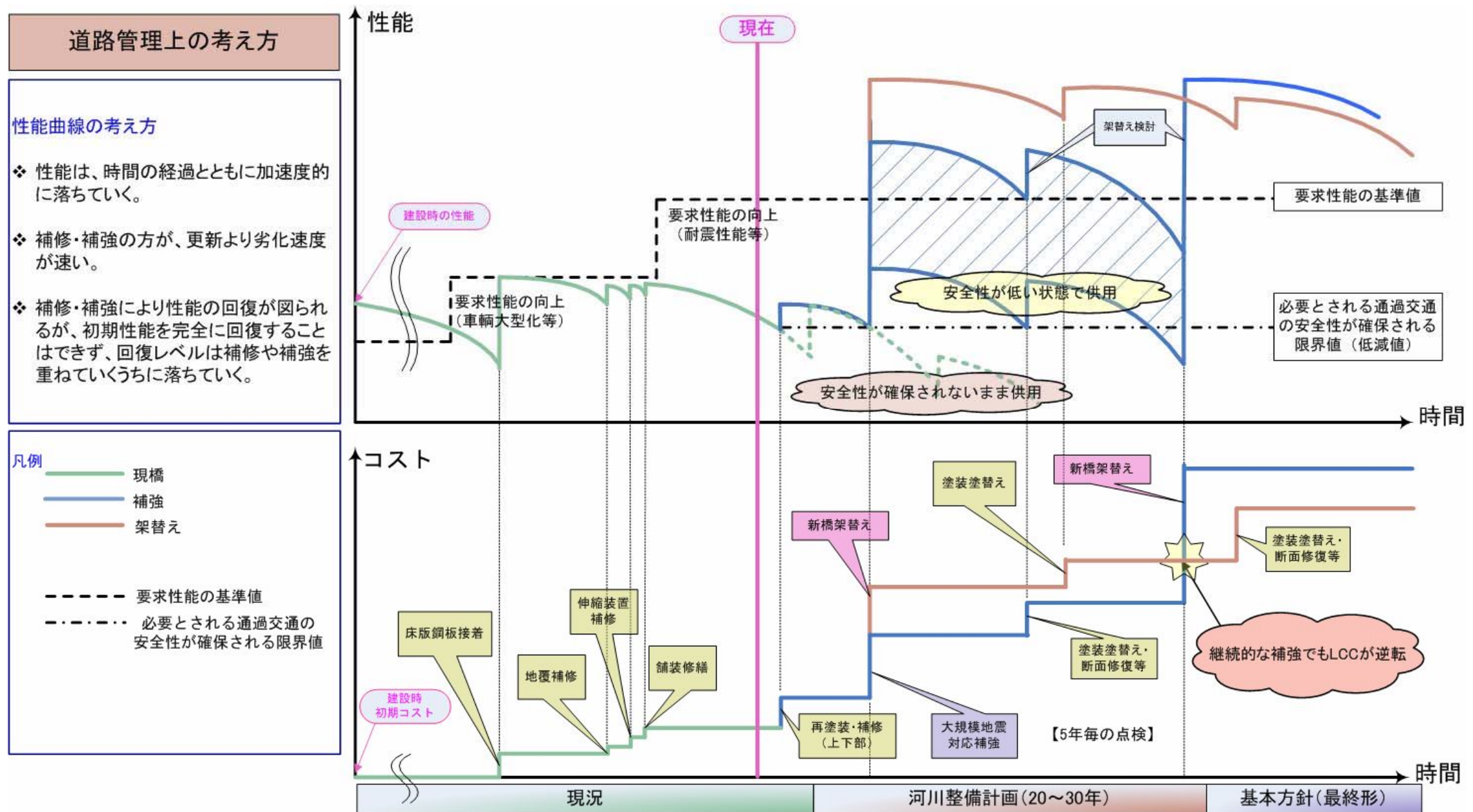
1 LCC (ライフサイクルコスト) の概念

一般的に、LCCとは、建設時の初期コスト（橋梁の建設費用）、維持管理コスト（点検、補修、補強費用）、更新コスト（架け替え費用）の合計で表されるもので、道路を将来にわたり適正に保全し使って行くために用いる考え方である。

安全な道路を確保するため効果的で、かつ限られた予算の中で効率的に維持管理し道路を使っていくには、構造物の損傷・劣化を長期にわたり把握し、投入費用に対し効果の高い補修・補強を実施し、LCCを最小とすることが重要である。

松江大橋におけるLCCおよび性能曲線の概念図について、道路管理上の考え方を以下に示す。

概 念 図



2 補修・補強対策事例

現行道路橋示方書の基準を満足するように、耐震性等の安全を確保するために、松江大橋を補強する場合には、河川内及び航路周辺での施工となり、仮栈橋や作業構台、仮設航路の設定など仮設備を初め、交通規制など大掛かりな対策が必要となると考えられる。松江大橋への適用が想定される一般的な補修・補強工事の事例写真を図 2.1 に示す。なお、松江大橋を存置した場合に必要な補修、補強の工法は、現在から次回架け替えを行う時点までのトータルコストを考慮し、費用と効果等を踏まえて検討しなければならない。また、適用できる補強工事が現行道路橋示方書の基準に対し、どの程度の補強が可能であるか、あるいは全てを網羅した対策を実施することが可能か、総合的に判断しなければならず、別途詳細に検討していく必要がある。

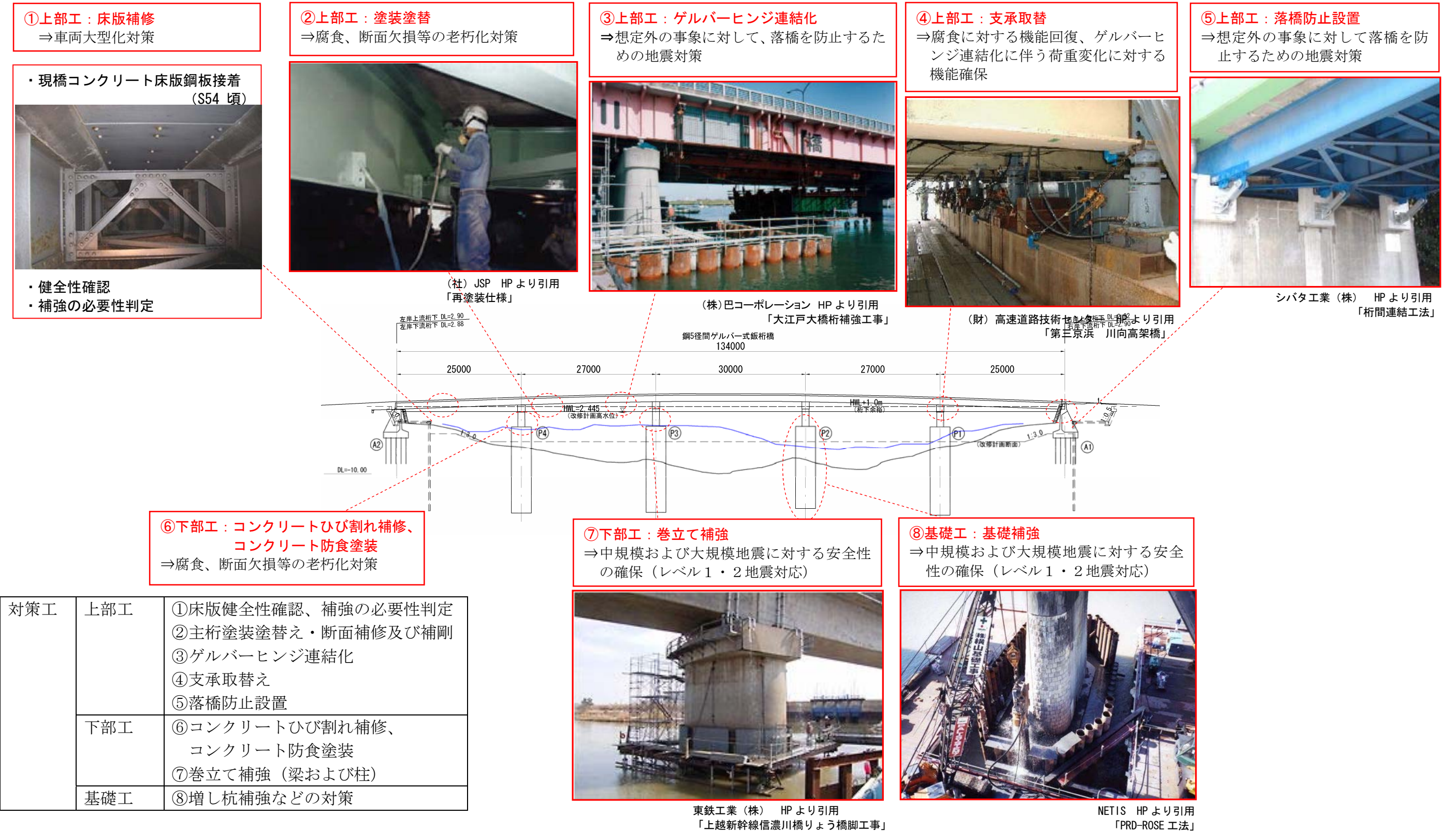


図 2.1 一般的な補修・補強対策の事例